

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	通信会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後、少しずつ回復傾向にある。新型コロナウイルス以前と比べると、回復には至っていないが、3か月前と比べれば改善している。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って緊急事態宣言が発令され、観光客の来訪が全くなかった。今月は来客数が通常の1～3割程度は戻ったと感じている。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・3か月前と比べると、緊急事態宣言が解除になったこともあり、徐々に客が戻りつつある。また、納品先の販売量も少しずつではあるが増えている。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は全館臨時休業が始まり、食品のみの販売を強いられていた時期である。それに比べれば、やや良くなっているといえるものの、実態は決して良い状態ではない。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店は24時間営業を続けているが、他店の営業時間の短縮等が響き、夜の来客数が減っている。ただし、3か月前より昼間の来客数が増えてきているため、客単価は変わらない。客数が増えたため、多少これからの景気は良くなる。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べて、客は増えているようである。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波のなか、家庭で自粛し外出を控えている。ストレス解消なのか、普段着のTシャツ等を複数枚購入する客が多くなっている。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べれば、かなり回復基調となっているが、1か月の採算ベースは達成できていない。この2週間の新型コロナウイルスの感染拡大の影響がどうなるのか、今後が見通せない。このところメーカーの生産状況が大分ばらついてきていて、秋物の先行仕入商材が、一方的な生産ストップで納入されていない。続々と影響が出てきており、心配である。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されてから、少しずつ来客数が戻ってきている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・東京都の新規の新型コロナウイルス感染者数が毎日200人を超えて、客の動きにも影響が出てきているものの、以前に比べて、少人数の食事会が入るようになってきている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・大きな団体の宴会は皆無だが、少人数の飲食が目立つ。客単価もやや高い傾向である。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・5月を底に、給食提供数は増加傾向が続いている。これは、工場の再開、生産調整の戻りや研修施設の再開、幼稚園、保育園の登園者数の増加、介護施設等での受入れ増等、総じて受託施設での給食利用が戻ってきていることによる。
	○	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・4～6月は前年比30%だったが、7月はJリーグ関連の予約もあり、前年比50%まで戻ってきている。ビジネス利用の個人客の出入りは激しく、新型コロナウイルス感染第2波の影響で、予約が入っては消える、の繰り返しである。レストランはランチはほぼ戻ってきているものの、ディナーは非常に厳しい。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・一時的に新型コロナウイルスの感染が収まる気配が見え、各自治体の行う観光刺激施策に加えて、Go To キャンペーンも動き出してきている。しかし、残念ながら、県をまたぐ移動の緩和に呼応して、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつあり、第2波が来ている感が否めず、大きな不安要素となっている。

○	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・来客数が4月と比べ1.3倍程度に増えている。
○	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が収まりつつあり、来場者数も戻ってきている。
○	設計事務所（所長）	それ以外	・緊急事態宣言解除前と比較すれば、旅客、飲食サービスの客の動きは出てきている。新型コロナウイルス流行前とまではいかないが、景気はやや上向いてきている。
○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言明けの動きで、少しずつ回復してきているのではないかと。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・市のイベントが年内全て中止のなか、Go To Travelキャンペーンに期待したが、全国の新型コロナウイルス感染者数が最多で推移しており、多くの人が自粛して外出していない。商店街の人影はまばらである。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・3か月前の4月は、一番、新型コロナウイルスの影響が大きく、自粛や緊急事態宣言等で、外出がかなり控えられていた。コンビニ業界としては、やはり人の動きが少ないことが売上に大きく影響する。緊急事態宣言解除等の分、6月辺りは比較的上回ってきたかと思っていたが、最近の感染再拡大で、少し人の動きが鈍っている。今後、まだ感染拡大しそうな勢いなので、先行きは悪いだろうと感じている。
□	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルス感染防止のため、外出自粛が求められている。客も街に出る機会を奪われてしまって、なかなか出られず、街中に人が本当に少なくなっている。今月は七夕祭りも中止となっている。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・梅雨明けが遅く、夏物商材の動きが鈍い。
□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・特別定額給付金支給により高単価商材の動きが良い。特に、テレビ、パソコン、周辺機器、冷蔵庫、エアコン等が前年比150%ぐらいで推移している。
□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・この2～3か月の新車販売は、軽自動車を中心になってきているため、売上はかなり落ち込んでいる。車検等の整備部門の売上、在庫台数等は安定的に推移している。
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・いまだ、新型コロナウイルスの収束のめどが立たず、客足は遠のいている。
□	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・4月の新型コロナウイルスの流行時は緊張感があり、出張等のホテル需要は非常に少なく厳しかった。今も感染の第2波のような感じで、感染者が増えているので、当時の緊張感ほどではないが、出張やビジネス需要はなかなかない状況で、変わらない。
□	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・県の宿泊キャンペーンで、県内在住者の宿泊申込みはあるものの、それ以外の個人や団体の旅行はほとんどない。
□	競輪場（職員）	お客様の様子	・観客を入れ始めたが、ほぼ70%で止まっている状況で、売上も同様に落ちている。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数増加につれ、今年いっぱい全ての街の催事がなくなった。戻りつつあった客足が鈍化し、V字回復は時流に乗った業種のみで、大部分はL字型に低迷するとみている。
□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・東京の新型コロナウイルス感染拡大で、人々の不要不急の外出自粛意識が再認識されていると、客を通して感じられる。車の使用も身の回り限定に近く、来店機会が少なくなっている。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染の拡大により、不動産全体の客の動きは鈍くなっている。消費税増税による落ち込みが予想されていたが、新型コロナウイルスによる不景気感もあり、更に客が動きにくくなっている。
▲	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は天候不順で雨が多い。その上、新型コロナウイルスの影響による自粛もあって、皆が外出を控えている。大型店の駐車場も空きが多い。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・前年の夏に比べて、明らかに販売量が落ちている。完全に買い控えの状態である。

▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・中元ギフトは比較的堅調に推移したものの、アパレルを中心にクリアランスセールは苦戦を強いられている。また、今月中旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大に連動して来客数が減少している。
▲	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの特需的な要素があり、売上も良かったが、影響も薄れて客単価が通常に戻り始めている。通常であれば夏休みの始まっている時期であるが、夏休み短縮による影響も、多少出始めている。
▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月と比べて、特別定額給付金の影響は弱くなってきている。今月は前年比104%で着地しそうである。天候不順も景気に影響している。冷蔵庫や洗濯機等の家事関連商材が人気で、好調である。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・10万円の特別定額給付金が出たときは、多少、単価の安い車が動いたが、また最近ではムードが停滞してきている。購買も低下し、来客数も若干減りつつある。
▲	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、来客数が戻る傾向にあったものの、7月は記録的な日照不足と降雨日の連続で、来客数が減少している。夏物商材の動きも鈍い。
▲	その他専門店 [燃料]（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染防止で、燃料使用量が減少し、受注も大きく減少している。
▲	通信会社（局長）	販売量の動き	・テレビCMや番組協賛といった広告掲載を希望する客が減っている。特に、飲食業が顕著である。
▲	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され徐々に来園者も増えているが、依然として入園者数は低調である。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比マイナス10万6000円の81%である。来客数はマイナス140人で82%となっている。6月の緊急事態宣言解除後、来客数は戻りつつあったが、7月から店の前面道路工事が始まり、交通量が大きく減少している。工事は来年3月まで続く。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の出店と新型コロナウイルスの影響で、来客数が減っている。
×	衣料品専門店（販売担当）	それ以外	・今月初めは若干、新型コロナウイルスが落ち着きつつあって、人出も多少良くなっていた。Go To Travelキャンペーンが始まって、これだけ新型コロナウイルス感染者が増えてくると、以前にも増して客が全く出てこなくなっている。国の方向性、方針、政策等で、きちんとした対応を取っていかないと、どんどん悪くなる一方で、国そのものが立ち行かなくなるのではないか。
×	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社は観光地を控えた商売なのだが、温泉地方面のホテルの稼働率が、全くないと言ってもいいほど落ちている。それに伴って、物産店、土産物屋やドライブイン等も同様に売上が減っている。このままの状態が続けば、秋口にも廃業するかという話がオーナーたちから出ている。
×	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・5月は外出自粛の影響と感染対策特需で、ガーデニングやDIYの巣籠り需要、リモートワークによる座椅子、飛まつ対策用透明クロスなどの需要が高かった。今月はマスクや除菌グッズの需要は前年と比較すれば高いものの、市場にマスクや除菌スプレー等が充足したことで、動向は下がっている。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、完全に開店休業状態である。
×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンを含め、新型コロナウイルス関連の風評被害等もかなり多い。国の予算で案件を獲得する以外は厳しい。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・6月中旬以降、回復傾向にみえていたが、東京で連日200人以上の新型コロナウイルス感染者が出て、また元に戻ってしまっている。7月は電車に乗車する人が少なくなって、当然、タクシーを利用する客もいない。夜の客もほとんどいない。雇用調整をしても、県の最低賃金に届かず、会社で最低保障している状況である。

	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も人の動きが悪く、前年同月と比べて43%の減少である。
	×	タクシー（役員）	お客様の様子	・国の施策が愚策で、悪くなっている。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不透明である。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者が増えてきているので、外出を控えている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・人が出始めて、若干増えていると感じているが、企業関係では撤収や店が開けない状況等が、まだ目立っている。特に、飲食店は依然として悪く、閉鎖が増えている。事務所系テナントも、入居してくるどころか撤収が多くみられる。まだ、非常に悪い状況である。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の工場稼働状況も平常に戻ったため、売上も回復しつつある。
	○	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・例年この時期は落ち込むが、その落ち込み方が例年より若干大きいものの、3か月前と比べればまだ良い方である。
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前の5月は売上が半分以下だったが、今月は9割まで戻っている。8月は半分くらいは達成できそうである。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受ける前の状況に戻ってきている。
	○	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・延期になっていた建物の維持管理業務が実施となったり、緊急の修理案件等のスポット要素もあったため、売上がやや増えている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特別好調ではないが、堅調に推移している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月が前年同月比1割減で、5月の同4割減と比べれば、6月はある程度持ち直してきた。7月は前年比で2割くらいは悪い感じである。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量、販売量、取引先の様子のいずれも、やや悪くなっている。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・なかなか梅雨明けしないため、夏物家電のエアコン、扇風機、サーキュレーターの物量が、本来より落ち込んでいる。その一方で、テレワークなどにより、椅子、机、テーブル、ソファ、棚等のインテリア商材のインターネット通販向け物量が、特別定額給付金のお陰もあり前年より10%増えている。
	□	広告代理店（営業担当）	それ以外	・居酒屋店主の話では、夜の来客数が例年の半分にも満たない状況が続いているようである。夏祭りも中止で、会社の飲み会もなく、今後の回復の期待が持てないとのことである。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・団体行動の自粛やソーシャルディスタンスを取って集客するため、飲食業や観光宿泊業は厳しい状況が続いている。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数共に、増加している。新型コロナウイルスの影響が大きい業種からの商談は停滞しているが、通信販売関連の引き合いは活発である。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産部門では、12月末で撤退を希望している飲食店テナントがあり、その後の入居テナントが未定のため、現状のままだと建物も解体する予定である。
	▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・7月に入ってから、県内の新型コロナウイルス感染者がみるみる増えている。せっかくここまで待って街や観光地などに掛ける雰囲気になったのに、水を差された状況である。元々落ち込んでいた外での消費活動に、長梅雨が影響して月後半に一層抑え込まれる状況となっている。一方、公立学校向けのIT関連事業が盛んで、一部の関連業者だけは明るい材料がある。
▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・下請の金属加工やプラスチック加工業者の動きをみてみると、やや悪いくらいで済んでいるのは良い方ではないかと感じる。	

	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、取引先の生産計画の低下傾向が続いている。
	×	建設業（開発担当）	それ以外	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移してきていて、業界にとっては大変有り難い。ただ、一強政治が長過ぎて弊害が出てきているので、心配している。新型コロナウイルスの影響で、今期4月からの公共工事発注が過去にない状況で、前年比78%増、当社受注も前期比10%増となっている。通年で考えた場合は、建設業も、いまだ経験したことのないような不安が続く。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で、当社主力取引先のホテル関係の宿泊稼働率がなかなか改善されていない。Go To キャンペーンなどの良い影響が出てくるかと思っていた矢先に、当地でも新型コロナウイルス感染者が出始め、多くのキャンセルが発生し、先の見通しもなかなか立てられないとのことである。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣受注が前年比で減少という状況は、さほど変わらない。6月に入り回復の兆しが見えたものの、7月の新型コロナウイルス感染者増加により、採用活動を一時見合わせる企業が一定数発生している。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・会社都合による離職者が増加しており、宿泊業では退職勧奨する事業所がみられる。
	▲	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・食品等の加工、製造要員の募集が目立っている。看護職、介護職の募集については、新型コロナウイルスの影響で人の集まりが悪くなっているようである。もちろん、夏物のお中元商材、衣料販売関係の募集もみられたが、店舗の活発さは見受けられない。製造業、建設業の動きも非常に鈍い。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は前年同月と比べて12か月連続で減少し、34.2%減、新規求人数は同23.9%減となっている。
	×	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスが流行してからは、どこの会社も余り仕事がなく、売上も激減し、困っている。
	×	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、クライアントの派遣採用数がほとんどない。
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響はいまだ未知数で、学生の就職にも悪影響を及ぼしている。